

## 授業科目 経営管理論

【担当教員名】  佐藤 正		対象学年	2	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○		
【概要】 「経営学」という学問領域は、企業活動全体を対象としている。「経営管理論」は「経営学」の部分領域の一つである。 企業活動は、多数のメンバーによって担われているが、統一的な意志を持つ活動体として運営されている。このメカニズムは、経営者と部門管理者による企業活動の方向付け・計画化、現場担当者の作業の遂行とこれに対する経営者・部門管理者の指導・関与、実行結果に対する統制である。この方針決定・計画、指導、統制のうち経営者の活動は経営、部門管理者の活動は管理と呼ばれている。 「経営管理論」は、こういった経営・管理の活動の全体像について概観し、基礎的な知識を習得することを目標としている。					
【学習目標】 企業において行われている経営・管理活動の全体像を構成する次のような項目についての、基礎的な知識を習得する。 1) 経営者・管理者の役割 2) 企業活動全体の長期的な方向付け 3) その実現のための実行計画 4) 組織メンバーの統率					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	§ 1 経営管理の意味と課題				
2	§ 2 企業と社会 (1) 企業活動の二面性				
3	§ 2 企業と社会 (2) 企業と社会の調和の達成				
4	§ 3 経営戦略の概要				
5	§ 4 企業戦略 (1) 多角化の意味				
6	§ 4 企業戦略 (2) 多角化の再編と第二創業				
7	§ 5 事業戦略 (1) 事業戦略の意味				
8	§ 5 事業戦略 (2) 事業戦略の基本パターンと策定				
9	§ 6 ブルーオーシャン戦略				
10	§ 7 事業の運営 (1) 経営計画と予算				
11	§ 7 事業の運営 (2) 組織構造の形成				
12	§ 8 組織メンバーの統率 (1) 経営理念と組織文化、リーダーシップ				
13	§ 8 組織メンバーの統率 (2) モティベーション理論とインセンティブ・システム				
14	§ 8 組織メンバーの統率 (3) わが国企業のインセンティブ・システム				
15	§ 9 管理者の役割				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		経営管理<新版> (有斐閣アルマ)	塩次喜代明ほか 他	有斐閣	2009・1,995円
		現代経営管理論の基礎	芹沢成光ほか	学文社	2007・2,500円
		経営戦略 (新版)、有斐閣アルマ	大海精一ほか	有斐閣	2006・1,995円
		中期経営計画	UFJ 総合研究所経営戦略部	日本能率協会マネジメントセンター	2003・2,100円
		経営を見る目	伊丹敬之	東洋経済新報社	2007・1,680円
その他の資料					
【評価方法】 学期の途中でミニテストを実施する。ミニテストと期末テストの結果を総合して成績評価を行う。			【履修上の留意点】 ・授業の内容を記したプリントを配布し、これによって授業を進めるので、毎回出席すること。 ・その時々時事問題についても解説するので、新聞の経済欄に常時目を通してきて欲しい。 ・授業中の私語は厳禁である。		